

「岩手ようごの会」 第10回実践交流会のご案内 & 第9回の報告



平成 29 年 1 月 15 日 岩手ようごの会 代表 堀籠ちづ子

新たな年が始まりました。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

本会は、今年も小さな一歩を大切にしていり、県内養護教諭の職務の充実にむけて一緒に進んでまいりたいと思っております。

さて、本会実践交流会は先生方のご支援とご参加をいただき第 10 回目を開催することとなりました。感謝申し上げます。今年も、ご参加を心よりお待ちしております。

.....第10回実践交流会のご案内 (第二次)

- * **テーマ:**「震災支援活動から、日常の保健室経営を考える」
- * **日時:** 平成 29 年 2 月 4 日 (土) 10:00~12:30
- * **場所:** アイーナ 6F 団体活動室 1

最近、日本においては大規模な地震や自然災害の発生が続いています。2011 年の東日本大震災後、昨年は熊本地震、台風 10 号の岩手上陸など自然の脅威に驚かせられる私たちです。しかし、こうした災害は、「ようご」をつかさどる私たちにとって必要かつ重要な職務を考える機会にもなりました。

そこで第 10 回は、養護教諭として、いつでも、どんなときにも対応できる日常の保健室経営を考えていきたいと思います。当日は、震災支援活動をされた先生の報告、危機に対応する日常の保健室経営の実践紹介後に、ご参加の先生方の実践・準備されていること等について交流をしていきます。

《お願い》: 可能な方は、自校の日常の危機対応の取り組みやグッズ等の一覧、写真などのご持参をお願いします。

お申し込みは不要です。直接、会場にお越しください。

第9回実践交流会の報告



第 9 回テーマは、「保健室経営計画 ~評価を中心に~」として、平成 28 年 12 月 3 日 (土) に開催しました。

当日は、ご参加の皆さんの保健室経営計画の概要、経営目標やその方策・評価の観点、様式、教職員への提案、保護者や子どもへの提示などの紹介後、評価について実践交流を深めました。保健室経営計画を評価する時期でもあり、実例を含めて次年度の改善を図るヒントがたくさん出されました。

感想として、今回の実践交流を参考にして評価、改善した保健室経営計画を各校で提案、実施して、改めて実践交流がしたいと嬉しいお声をいただきました。

実践交流会の様子

【話題提供】 岩手県立前沢明峰支援学校 田中千尋先生

田中先生は、児童生徒一人ひとりへの対応を大切に、開かれた保健室経営を目標に掲げて計画を作成されました。子どもの健康状態とその課題、発達課題を考慮した保健室経営計画作成の仕方、年度初めと年度末の教職員への提示と共有方法、他者評価と自己評価を行って次年度に生かすことなどをご紹介いただきました。

急遽、ピンチヒッターとして話題提供をご受諾いただきましたが、大変、勉強になる実践をご紹介いただきました。

<実践交流とシェアリングの紹介・・抜粋>

❖ 養護教諭が中心となって進める保健室経営計画と、教職員が組織的に活動を進める学校保健計画・安全計画は関連する部分も出てくるが明確に分けて作成する必要があり、混同しないようにしたい。❖ 保健室経営計画を年度始めに提案する際に、様式 (日本学校保健会様式) が従来の様式と異なり、変更を求められることがある。受け入れに時間がかかりそうだ。❖ 計画は提示しているが、評価まで行っていなかったので、今年はいりたい。❖ 他者評価の手段として、いつ、どの場面で、どのように、誰に、どのような観点、指標で行うかが難しい。❖ 子どものふり返りカードなど評価の方法は従来もあった。また、保健行事の後の教職員、保護者のアンケートや聞き取りも行ってた。今後、観点や指標をきちんと明示して活用したい。❖ 年度末の総合評価までに、学期毎に各行事など経過の評価をしていくことが大事だと思う。❖ 評価の観点が曖昧にならないよう、何を評価してもらいたいかわかりやすく提案がしやすい。❖ 他者評価は、自分で気づかなかった活動について教えてもらえる機会である。行為、活動を評価する観点を出すことが大事である。❖ 保健指導などでは、担任に評価してもらえる簡単なシートを付けるなどの準備・工夫をする。❖ 小規模校においては、自己・他者評価ともに難しい。他者は個人が特定されやすい。<実践交流会に参加しての感想> ❖ 保健室経営計画について具体的な例や沢山の資料、新しい知識、情報をいただきました。今後に生かしたいです。❖ 年度末で次年度の計画を立てる時期であったのでとても役に立ちました。